

株主メモ

事業年度

4月1日から翌3月31日まで

定時株主総会

6月

株主確定日

定時株主総会・期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

上場証券取引所

東京(第一部)

証券コード

2871

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関

東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

公告方法

電子公告により行います。公告掲載場所は当社のホームページhttp://www.nichirei.co.jp/とします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に
公告を掲載します。

株式事務に関するご案内

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 受付時間：9:00～17:00(土・日・祝日を除く)
各種手続お取り扱い店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		●みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取り扱いします。 ●みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジでは、お取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では、取次のみとなります)	
支払明細の発行	みずほ信託銀行 証券代行部(フリーダイヤル 0120-288-324)にご相談ください。	

【ご注意】 特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。
証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。



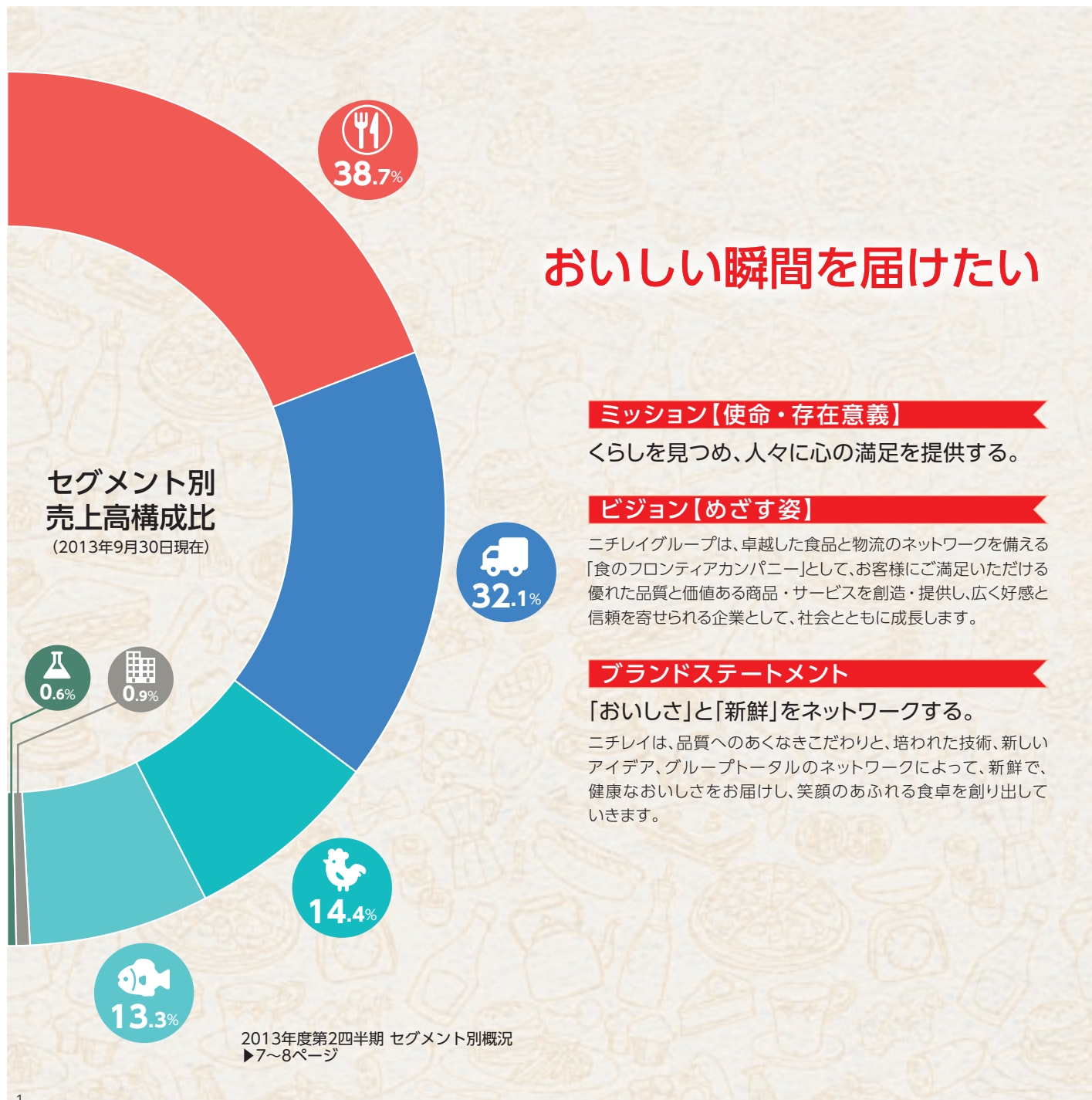
Vol.31

第96期中間 グループ報告書
2013年4月1日～2013年9月30日



© 栗原徹





おいしい瞬間を届けたい

ミッション【使命・存在意義】

くらしを見つめ、人々に心の満足を提供する。

ビジョン【めざす姿】

ニチレイグループは、卓越した食品と物流のネットワークを備える「食のフロンティアカンパニー」として、お客様にご満足いただける優れた品質と価値ある商品・サービスを創造・提供し、広く好感と信頼を寄せられる企業として、社会とともに成長します。

ブランドステートメント

「おいしさ」と「新鮮」をネットワークする。

ニチレイは、品質へのあくなきこだわりと、培われた技術、新しいアイデア、グループトータルのネットワークによって、新鮮で、健康なおいしさをお届けし、笑顔のあふれる食卓を創り出していきます。

株主の皆様へ

施策を確実に実行し、
目標達成をめざして



代表取締役会長

村井利彰

代表取締役社長

大谷 邦夫

第96期中間グループ報告書をお届けするにあたり、
日頃のご支援に心から厚く御礼申し上げます。

当第2四半期のわが国経済は、金融緩和政策や公共
投資の効果が発現するなか、円安の定着や生産活動の
増加などにより企業収益は改善し、個人消費も持ち直し
傾向にあるなど景気は緩やかに回復してきました。

食品業界は、円安や原材料価格上昇の影響により
仕入コストが増加する一方、生活必需品を中心に消費者
の低価格志向は根強く、川下では業態を超えた販売
競争が激化しました。

食品物流業界では、電力料金や燃油価格などコスト
上昇の影響が顕在化するなか、荷主の物流効率化ニーズ
は強く厳しい状況が続いています。

2013年4月より「グループ中期経営計画“RISING
2015”(2013年度～2015年度)」がスタートしました。
超高齢化やグローバル化の進展などの大きな環境変化
への対応を進め、持続的な成長に向けた諸施策を実行
してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解と
ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2013年12月吉日

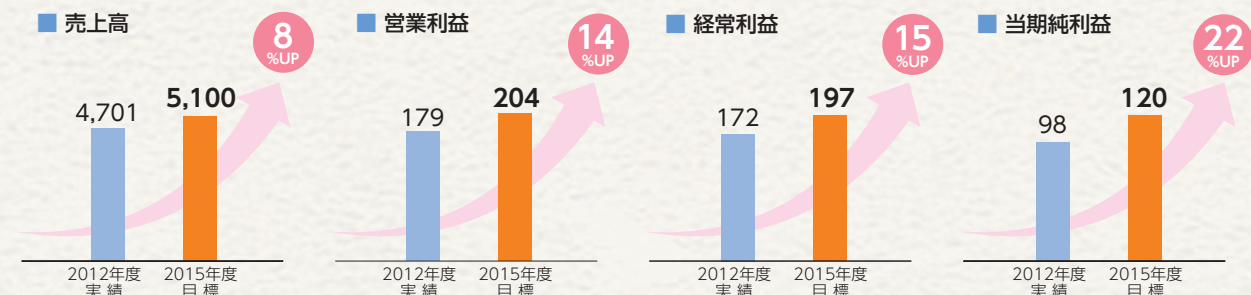
グループ中期経営計画 “RISING 2015” (2013年度～2015年度)

激変する環境においても機敏な対応と積極的な投資により、持続的な成長を図ります

ニチレイグループの全体戦略

- 1 グループ各社の国内外における収益力を向上し、持続的成長を実現します。
- 2 グローバルな品質保証体制を構築します。
- 3 グループ経営資源の適正配分を行うとともに、自己株式取得・増配等適正な株主還元策を継続します。
※配当方針については従来どおり連結株主資本配当率(DOE)2.5%を目標とします。
- 4 持株会社体制におけるコーポレート機能を強化します。
- 5 社会・経済環境の大きな変化に対応して技術戦略の強化を図ります。

グループ全体の目標数値 (単位: 億円)



セグメント別事業計画

 加工食品事業 (ニチレイフーズグループ)	● 主力家庭用商品を中心とした自営工場の生産能力を拡大します。また生産ラインを最適な状態に配置することにより、商品供給力の増強と利益率向上に取り組みます。 ● 得意先の業態に合わせた業態別組織への変更を基点に、顧客ニーズを迅速につかみ、商品開発・供給のスピードアップを図ります。 ● 海外では現地パートナーとの連携強化により販売を増強し、事業を拡大します。
 水産・畜産事業 (ニチレイフレッシュグループ)	● 顧客志向の営業力を強化し、差別化された商材や顧客ニーズにきめ細やかに応える加工品のさらなる拡充を図ります。
 低温物流事業 (ニチレイロジグループ)	● 首都圏および関西圏を中心に設備投資を実施し、集中する物流ニーズの取り込みと効率化を図ります。 ● 輸配送需要の取り込みが遅れていた地域においても、組織再編を通じて本格的に運送事業の拡大に取り組みます。 ● 海外事業を成長の柱の一つと位置付け、欧州や東南アジアでの事業を拡大します。
 バイオサイエンス事業 (ニチレイバイオサイエンス)	● バイオ医薬の伸長を背景に、組織染色製品に注力し、グローバル市場にも挑戦します。

第2四半期 連結決算の概況

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

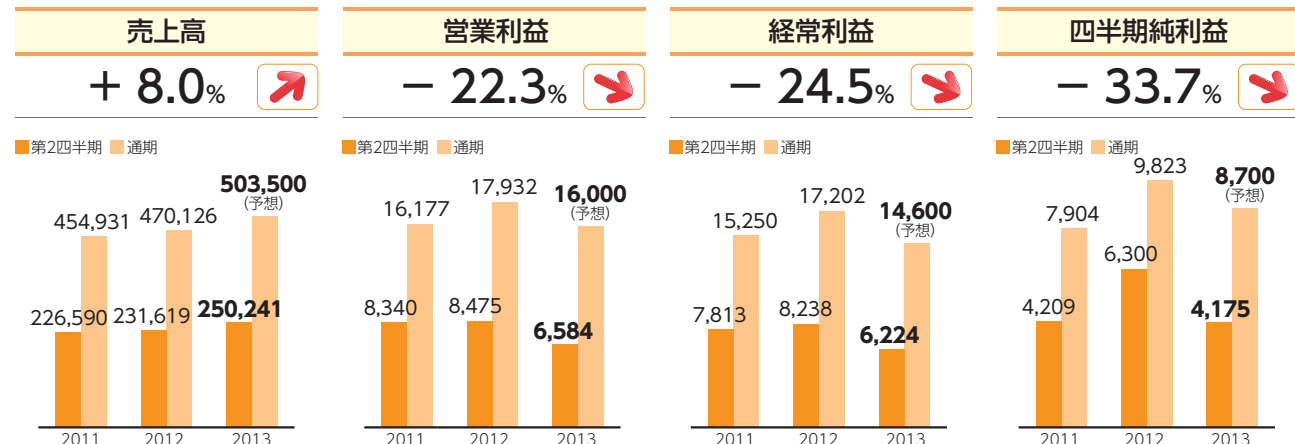
連結損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

区 分	前第2四半期 2012年4月 1日から 2012年9月30日まで	第2四半期 2013年4月 1日から 2013年9月30日まで
売上高	231,619	250,241
売上原価	186,379	204,580
売上総利益	45,240	45,660
販売費及び一般管理費	36,764	39,076
営業利益	8,475	6,584
営業外収益	925	1,033
営業外費用	1,162	1,393
経常利益	8,238	6,224
特別利益	1,432	1,486
特別損失	307	547
税金等調整前四半期純利益	9,362	7,163
法人税、住民税及び事業税	2,955	2,596
法人税等調整額	43	△30
少数株主損益調整前四半期純利益	6,363	4,597
少数株主利益	62	421
四半期純利益	6,300	4,175

第2四半期の売上高は、調理冷凍食品の販売拡大が続く加工食品事業が99億円、海外事業がけん引した低温物流事業が50億円それぞれ増収となり、グループ全体では2,502億41百万円(前年同期比8.0%の増収)、営業利益は、低温物流事業は順調に推移したものの、円安の影響を大きく受けた加工食品事業や畜産事業が苦戦し、65億84百万円(前年同期比22.3%の減益)となりました。

経常利益は、62億24百万円(前年同期比24.5%の減益)で、四半期純利益は、投資有価証券売却益など14億円、固定資産除却損など5億円を計上したことにより、41億75百万円(前年同期比33.7%の減益)となりました。



(注) 各グラフの単位は百万円、%表示は前年同期比の増減率です。

第2四半期 連結決算の概況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

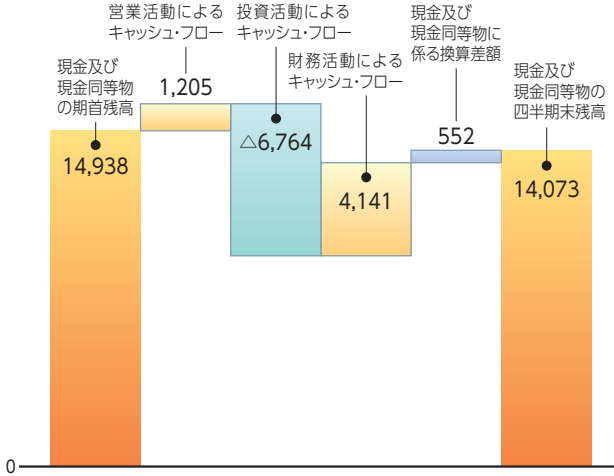
区 分	前 期 2013年3月31日現在	第2四半期 2013年9月30日現在
流 動 資 産	123,809	133,193
固 定 資 産	174,093	182,027
有 形 固 定 資 産	133,197	140,381
無 形 固 定 資 産	6,560	6,699
投 資 そ の 他 の 資 産	34,335	34,946
資 産 合 計	297,903	315,221

区 分	前 期 2013年3月31日現在	第2四半期 2013年9月30日現在
流 動 負 債	100,685	92,709
固 定 負 債	71,897	91,498
負 債 合 計	172,582	184,208
株 主 資 本	118,856	121,592
資 本 金	30,307	30,307
資 本 剰 余 金	18,224	18,224
利 益 剰 余 金	75,424	78,170
自 己 株 式	△5,100	△5,110
その他の包括利益累計額	4,220	6,282
少 数 株 主 持 分	2,243	3,137
純 資 産 合 計	125,320	131,012
負 債 純 資 産 合 計	297,903	315,221

連結キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

(2013年4月1日から2013年9月30日まで)



キャッシュ・フローの状況のポイント

営業活動によるキャッシュ・フロー

－ 62億円

➡

○経常利益は62億円、減価償却費は70億円を計上するものの、法人税等の支払いや季節的要因による営業資金(売上債権・たな卸資産・仕入債務)の支出などにより、12億円の収入

投資活動によるキャッシュ・フロー

－ 43億円

➡

○有形固定資産の取得による支出などにより、67億円の支出

財務活動によるキャッシュ・フロー

＋ 56億円

➡

○設備投資に備え、社債の発行や長期借入れを実施したことなどにより、41億円の収入

以上により、当会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前会計年度末に比べ8億円減少し、140億円となりました。

(注)記載金額は前年同期比の増減であり、億円未満を切り捨てて表示しています。

貸借対照表のポイント

総資産

＋ 173億円

➡

- ・売上げの増加や季節的要因により売上債権、たな卸資産などが増加し、流動資産は93億円増加
- ・主力事業の収益基盤拡大に向けた設備投資を進めたことなどにより、有形固定資産は71億円増加

負債

＋ 116億円

➡

- ・季節的要因により買掛金は25億円増加
- ・設備投資代金の支払いに備えるなど長期の安定資金確保のため、100億円の社債発行と100億円の長期借入れを実施

純資産

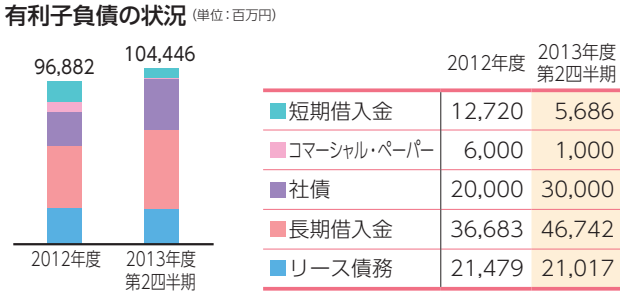
＋ 56億円

➡

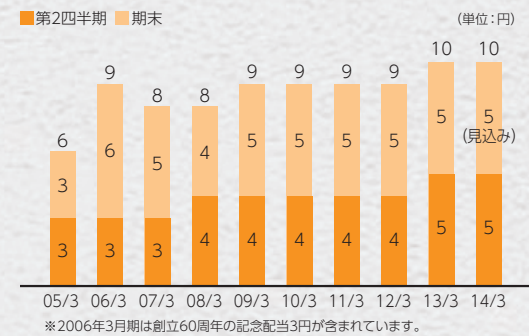
- ・四半期純利益41億円の計上、配当金の支払い14億円などにより利益剰余金は27億円増加、その他の包括利益累計額合計は20億円増加

有利子負債のポイント

長期の安定資金確保のため、社債発行と長期借入れを実施する一方で、短期借入金とコマーシャル・ペーパーでの調達を減らしました。



配当金の推移



(注)記載金額は前期末比の増減であり、億円未満を切り捨てて表示しています。

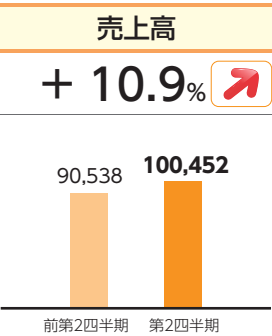
第2四半期 セグメント別概況

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。
2. 各グラフの単位は百万円、%表示は前年同期比の増減率です。



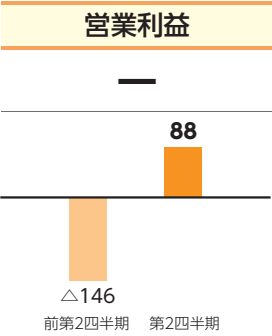
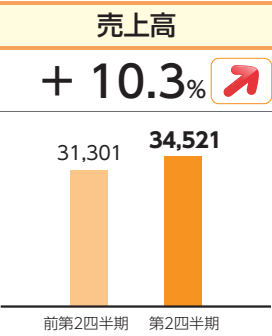
加工食品事業

- 国内では引き続き内食・中食需要が好調に推移するなか、調理冷凍食品や冷凍野菜の取り扱いが伸長、前年度に買収した海外子会社の売上げも寄与し増収
- 生産性の改善や一部商品の価格改定を進めたものの、円安による仕入コスト上昇が先行し大幅な減益



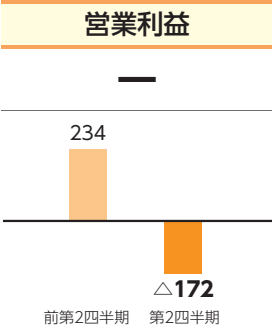
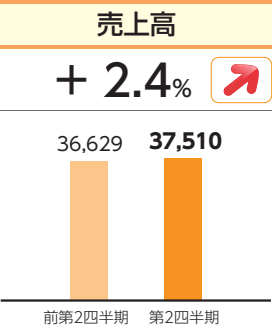
水産事業

- 円安の影響や産地の供給不足などにより水産物全般が高値基調となるなか、値頃感から需要が増加した「たこ」の取り扱いが好調に推移
- 国内相場の回復を受けて素材品の販売が堅調に推移し、売上高・営業利益ともに前期を上回る



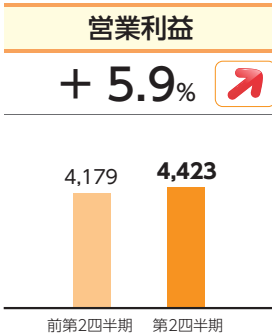
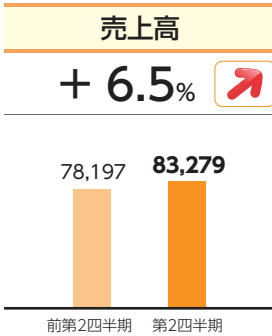
畜産事業

- 国産牛肉の取り扱いが伸長したことなどにより増収となったものの、円安による輸入品の調達コスト上昇を吸収できず減益



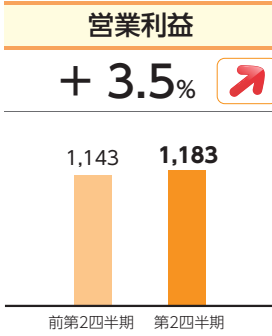
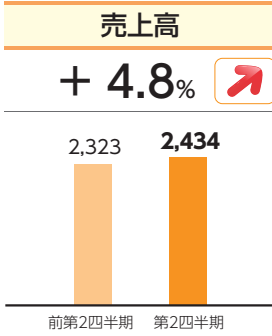
低温物流事業

- 国内は、TC(通過型センター)事業が好調な物流ネットワーク事業や地域保管事業が増収となったものの、電力料アップや新設センター稼働に伴う減価償却費の増加などにより減益
- 欧州地域が好調の海外事業のけん引などにより、低温物流事業全体では増収・増益



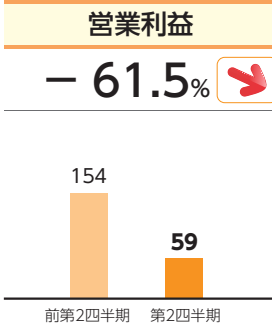
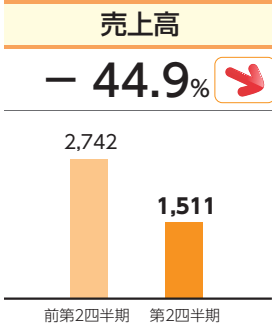
不動産事業

- 賃貸オフィスビルの競争力強化のため、リニューアル工事・省エネ工事を実施したことなどにより安定収益を確保するとともに、茨城県牛久市の宅地分譲(4区画)を実施



その他の事業

※その他の事業には、バイオサイエンス事業のほか、人事給与関連業務サービス、緑化管理・清掃関連サービスの事業を含んでいます。



FOCUS

ニチレイグループの品質 徹底的にこだわります

私たちニチレイグループは、“優れた品質と価値ある商品・サービスを創造・提供する”ことをビジョン【めざす姿】(HOPPE 1ページ参照)の中で謳っています。

食品と物流とそれぞれの領域で、『品質』をキーワードにニチレイブランドの優位性をお伝えするため、徹底したこだわりの厳しい水準を保持しています。

『品質』にこだわったニチレイグループの総合力、取組みをご紹介します。

ニチレイブランドを守るために ～ブランド審査～

ニチレイ品質保証部は、お客様からの品質に対する信頼にお応えするために「ブランド審査制度」を設けています。このブランド審査は、工場審査と商品審査からなり、各事業会社が新たにニチレイブランドを付けた商品の生産を開始する前に、その生産工場およびその生産ラインに対して実施するものです。この審査に合格した商品だけが、ニチレイブランドを付けて販売ができます。

＜ニチレイブランドが付与されるまで＞



工場審査の内容

- 事業会社の事前審査ののち、専門教育を受けた工場審査担当者が必ず工場に赴いて審査を実施。
- 管理・運用面25項目、施設・衛生面30項目からなり、細分化すると約150ポイントをチェック。
- 事業会社が行う事前審査と同じ項目でも重要なものは、必ず工場審査担当者が審査を行い合否判定をします。

項目	ポイント	5段階評価
アレルゲン管理が適正に行われる仕組みがあるか	①当該工場の生産品に含まれているアレルゲン情報を原材料規格書や商品仕様書などで検証し、それらを適正に管理する仕組みを構築しているか?	5
	②人のアレルギー反応やアレルゲン管理の必要性について従業員教育が行われているか?	

商品審査の内容

- 商品審査は、微生物検査、アレルギー検査、食品添加物等の検査、表示確認などを商品ごとに実施。
- 微生物検査: 商品が食品衛生法で定められている基準を満たしているかを検査。
- アレルギー検査: 表示で記載されていないアレルゲンが混入していないかを乳、小麦、

卵について商品検査を実施。その他のアレルギー物質を含む食品は、原材料規格書や製造記録等で確認。
●表示確認: 消費者視点で表示内容をチェック。
●事業会社では、商品開発途中で様々な検証を実施。具体的には、原材料の規格を事前に把握、商品をテストする時点で微生物検査やアレルギー検査を実施し、商品基準を逸脱していないことを検証。

品質向上に向けて

工場審査・商品審査で不備のあった項目は、その原因や改善策を事業会社の品質管理担当者などと共有し、事業会社での事前審査ノウハウの向上や日常の生産管理体制での品質向上に役立てています。

また、品質保証部では、定期的な研修会を実施するなど、事業会社の担当者育成にも力を入れています。

N が付与されました ～新商品紹介～

10月に発売しました家庭用冷凍惣菜『選べるおかず』シリーズをご紹介します。このシリーズは、「主菜セット」「副菜」などを、それぞれの食卓で自由に組み合わせて使うことができ、楽しく、健康的な食生活のお手伝いができる商品シリーズとして開発しました。

一人・二人世帯・高齢者の方にとっての食事作りでは、「少人数分の料理を作ることの手間や無駄」「毎日栄養バランスを考えて食事を準備することの難しさ」といった問題を抱えています。各商品の量目は、「食べきる」「使いきる」ことのできる規格とし、トレーはそのまま食卓でできるようにデザイン性を高めました。

【主菜セット】3品

- デミグラスハンバーグ
- 香味あんかけ鶏からあげ
- 白身魚フライ
- トマト&タルタルソース



【副菜】6品

- ほうれん草ごま和え
- いんげんとれんこん黒ごま和え
- きんぴらごぼう
- 枝豆とひじきの生姜煮風
- ブロッコリーといんげんのサラダ
- ひじきとこんぶのうま煮



商品のお問合せ先：お客様相談センター

☎0120-69-2101(受付時間：9:00～17:00(土・日・祝日を除く))

物流品質へのこだわり ～保管から納品まで徹底した温度管理で品質を維持～

心を込めて作られた食材や製品を、大切に保管し、効率よく輸送する。それがニチレイロジグループの仕事です。お預かりした商品を最適な状態で保管するために、冷蔵倉庫内の温度はすべて自動で管理しています。そして、スピーディな輸配送と商品特性を熟知した温度管理により、商品を積み

込みから納品先にお届けするまで、常に適切な温度で配送します。

ニチレイロジグループの徹底した温度管理を経て、冷凍食品、チルド惣菜、アイスクリーム、水産・畜産物などの商品が、スーパーなどの店頭に並び、皆様のお手元に届きます。

物流サービスの設備・体制

- 入出庫作業を行うのは、品質維持のため適切に温度管理された**低温室**。
- トラックの排気ガスなど外気の侵入や温度上昇、結露などを防止するため、入出庫作業スペースには**外気導入陽圧システム***を採用。
*外気導入陽圧システム：冷却・清浄化した外気を低温室に送り込み、低温室を外より高い気圧にして、隙間から排気ガスや粉塵・湿気の侵入を防ぐ。
- 冷凍倉庫との移動を最短時間で行うための最新鋭の高性能マシン：**垂直搬送機、フォークリフトやピッカーなどの荷役機器**。
- 正確でスピーディな庫内作業を可能にする最新鋭の設備：**自動倉庫、移動棚**。
- コンピューターによる在庫管理システム**と連動した日付管理体制の徹底。
- 各商品の形状や入出庫スケジュールに合わせた**効率的な在庫管理**。



低温室



フォークリフト作業



自動倉庫①



自動倉庫②



大型移動棚

CSR活動

こだわりの広島県産カキの販売が、森林整備保全に貢献



※フォレストストック認定制度

一般社団法人フォレストストック協会が、日本の国内森林を対象に、適切かつ持続的な森林管理、生物多様性保全などの一定の基準を満たした森林を評価・認定し、森林整備による森林吸収源をCO₂吸収量クレジットとして認定し、価値化する制度です。

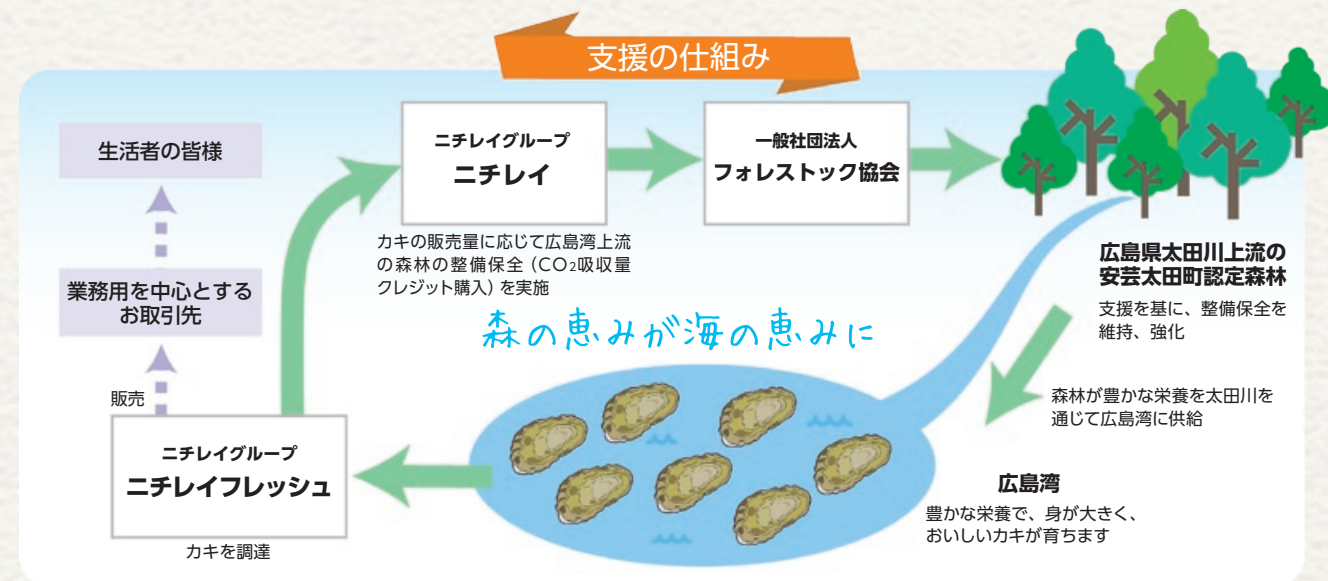
企業などが購入することによるCO₂吸収量クレジットの販売収益金が、国内の森林整備・保全資金として還元される仕組みです。

ニチレイグループの事業は、自然環境の恵みと深くかかわり、環境方針に「“食”と“健康”の源である地球の恵みを次世代に引き継ぎ、『おいしさ』と『新鮮』を継続してお届けする」ことを記載しています。この一環として、フォレストストック認定制度*を活用し、広島湾に注ぐ太田川上流域にある森林整備保全の支援を開始しました。

日本の国土の約70%を占める森林は、枝打ちや間伐、下草刈りといった適正管理を行うことで、水源涵養、災害防止、CO₂吸収源としての地球温暖化防止、生物多様性など私たちの生活にも重要な恵みを供給してくれます。

また、森林から生まれた栄養は、きれいな川の水とともに海に運ばれ、カキなどのエサとなるプランクトンを増殖させます。これを食べることで、栄養豊かで、おいしい海産物が育ちます。

この支援は、ニチレイフレッシュの広島県産カキの販売量に応じて行われ、広島森の恵みを広島湾の海の恵みにつなげ、「おいしさ」と「新鮮」を継続して届けるとともに、地球の恵みを未来に引き継いでいく取り組みです。



会社概要 (2013年9月30日現在)

社 名 株式会社ニチレイ

所 在 地 〒104-8402
東京都中央区築地六丁目19番20号
ニチレイ東銀座ビル

設 立 1942年12月

役 員	代表取締役会長	村 井 利 彰
	代表取締役社長	大 谷 邦 夫
	取締役(執行役員)	中 村 隆
	取締役(執行役員)	早 間 元 晴
	取締役(執行役員)	池 田 泰 弘
	取締役(執行役員)	松 田 浩
	取締役(執行役員)	大内山 俊 樹
	社 外 取 締 役	判 治 誠 吾
	社 外 取 締 役	三 品 和 広
	社 外 取 締 役	谷 口 真 美
	常任監査役(常勤)	三 田 勇 太 郎
	常 勤 監 査 役	荒 剛 史
	社 外 監 査 役	齊 田 國 太 郎
	社 外 監 査 役	植 野 道 雄
	社 外 監 査 役	岡 島 正 明
	執 行 役 員	森 康 益
	執 行 役 員	田 口 巧

会計監査人 新日本有限責任監査法人
東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 日比谷国際ビル

株式の状況 (2013年9月30日現在)

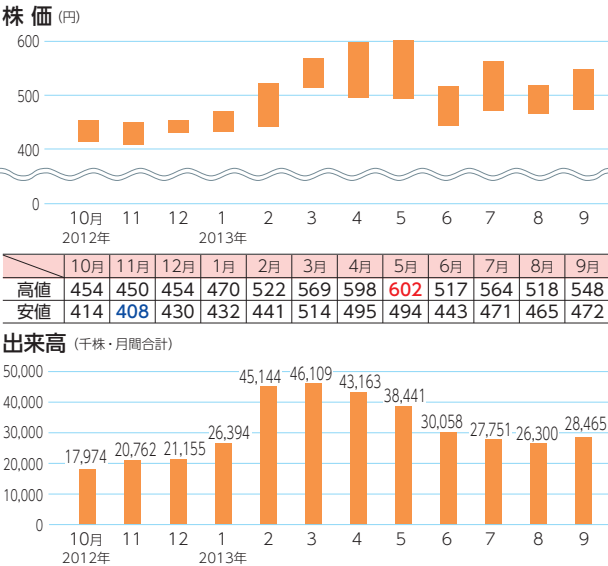
発行可能株式総数 …………… 720,000,000株
発行済株式総数 …………… 295,851,065株
(うち自己株式 9,954,939株)
単元株式数 …………… 1,000株
株主数 …………… 24,347名

■大株主

株 主 名	持株数(千株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	19,391	6.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	18,332	6.2
日本生命保険相互会社	12,462	4.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	11,825	4.0
株式会社三菱東京UFJ銀行	9,733	3.3
株式会社みずほ銀行	8,630	2.9
株式会社損害保険ジャパン	6,819	2.3
第一生命保険株式会社	5,716	1.9
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	5,598	1.9
農 林 中 央 金 庫	5,350	1.8

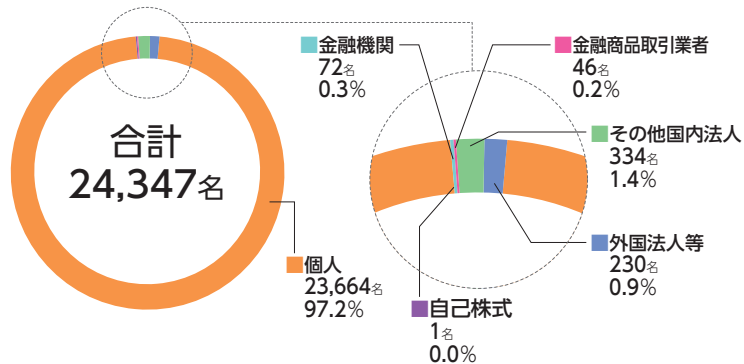
(注)持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。

■株価チャート

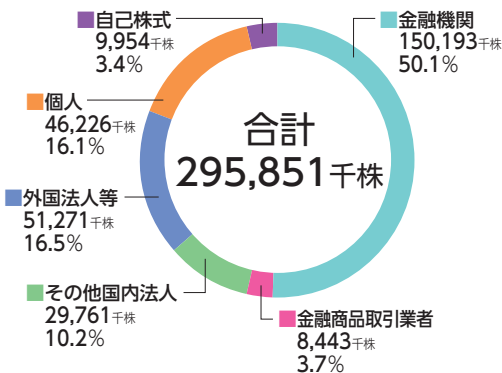


■所有者別株式の分布状況

株主数および比率



株式数および比率



「復興特別所得税」についてのご案内

2011年12月2日に「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法(2011年法律第117号)」が公布されました。これに伴い、所得税全体を対象として、2013年1月から2037年12月までの25年間、基準所得税額に対し2.1%の「復興特別所得税」が課税されます。

なお、上場株式等の配当等に関する具体的な税率は、下表をご参照願います。

「復興特別所得税」を加算した 上場株式等の配当等に係る税金と税率		2013年1月～2013年12月	2014年1月～2037年12月	2038年1月～
		25年間基準所得税額に対し、2.1%の付加税が上乗せされます		
上場株式等の配当等に係る税金と税率	所得税	7.147%	15.315%	15%
	住民税	3%	5%	5%
合 計		10.147%【軽減税率】	20.315%	20%

2013年1月以降の所得税率の計算方法

2013年1月～2013年12月 ⇒ 7% + 7% × 2.1% = **7.147%**
2014年1月～2037年12月 ⇒ 15% + 15% × 2.1% = **15.315%**

※上記税率は、源泉徴収が行われる場合の税率です。なお、内国法人の場合は住民税が徴収されません。
※発行済株式の総数等の3%以上に相当する数または金額の株式等を有する個人の大口株主様につきましては、別の税率となりますので、ご注意ください。
※2014年3月末にて「復興特別法人税」が廃止になりますが、「復興特別所得税」は継続されます。
※詳細につきましては、所轄の税務署にお問合せください。